

【危険物安全週間】 消防局長が危険物施設の保安体制を確認しました！

危険物等の火災・流出事故が増加傾向にあり、最近においても深刻な被害が生じる事故が続発し、大きな問題となっています。このような状況を踏まえ、川越地区消防局では、平成29年6月6日（火）管内の危険物を保有する東洋インキ(株)埼玉製造所に対して、消防局長が保安体制の確認のため立入検査を実施しました。

東洋インキ(株)埼玉製造所の保安体制は良好であり、今後とも危険物に関する事故防止を徹底していくことを確認しました。





【高野消防局長】

危険物事業所の皆様には、日頃から消防行政に格別のご協力をいただきまして感謝申し上げます。さて、危険物施設における事故は、火災と危険物の流出に大別されますが、これらの事故は、平成6年から増加傾向であり、危険物施設数は減少傾向にあるにも関わらず、事故の件数はいまだ高い水準で推移しております。

危険物の火災は、大規模な被害が生じるおそれがあります。

事業所の保安体制を強化し、事故防止に努めるようお願いいたします。

今回、東洋インキ(株)埼玉製造所様の屋内貯蔵所1施設において、立入検査を実施したところ、適正に維持管理されていることを確認いたしました。引き続き維持管理の徹底をお願いします。



平成29年度危険物安全週間推進標語

「あなたなら **無事故の着地** 決められる!!」

